

明日の天気は変えられない、でも市民の力で変えられる深谷の政治!



清水けんいち 市政リポート

政策討議資料
第11号
2010年1月
新年号

〈ご挨拶〉

すこやかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。
皆様の、日頃からのご支援ご協力に感謝申し上げます。深谷市議会議員として、日々、市民の皆様のため、深谷市発展のため精進しております。日頃の議員活動や市政状況を、市民の皆様にご報告し開かれた政治を実現して参ります。
これからも、市民の皆様のご意見や御要望を聞かせていただき「住みやすく・暮らしやすい・子育てしやすい街」深谷の実現に向けて活動して参りますので、ご支援ご協力を宜しくお願い申し上げます。
平成22年が、皆様に取りまして、幸多い年に成りますようお祈り申し上げます。

〈議会報告〉

深谷市議会 平成21年度 第2回臨時議会が開催されました。
(平成21年11月27日開催)

主な議案

- ・深谷市議会議員の報酬に関する条例の一部を改正(議員提案)
- ・深谷市長及び副市長の給与等に関する条例の一部改正
- ・深谷市教育長の給与に関する条例の一部を改正
- ・深谷市職員の給与に関する条例の一部を改正
- ・平成21年度深谷市一般会計補正予算(第5号)

臨時議会では、人事院勧告による市職員の給与引き下げおよび、市長はじめ議員の給与(報酬)引き下げました。(12月より)
※給与引き下げによる効果金額は約1億2千600万円です。

深谷市議会 平成21年度第4回定例会12月議会が終了しました。

主な議案

- ・市道路線の認定について
 - ・平成21年度深谷市一般会計補正予算(第6号)
- (他、市長提出議案12本、議員提出議案3本、請願4本)

いよいよ開通

旧川本町地区・重忠橋から旧岡部町本郷地区までの道路が来年4月に開通します。この道路が開通することにより、現在、非常に混雑しています花園インター周辺道路の混雑が解消されると期待しております。
また、利便性が上がることで企業誘致にも良い影響がでると確信しております。



補正予算(6号)の主な内容

(単位:千円)

予算事業名	補正前額	補正額	補正後額	補正内容
保育園運営事業(私立)	2,056,405	3,508	2,059,913	見込みより多く保育士が雇用された
子ども医療費支給事業	342,980	22,980	365,960	新型インフルエンザなどへの対応
生活保護費	1,605,506	182,663	1,788,169	生活困窮者が増加し申請が増えた
ごみ収集委託事業	403,003	▲36,000	367,003	入札による減額
緊急支援助策利子補給事業	4,300	3,243	7,543	資金利用者が見込みを上回った
小学校施設大規模改修事業	16,861	263,508	280,369	川本北小 耐震補強・トイレ改修工事
中学校施設大規模改修事業	18,738	498,326	517,064	川本中・岡部中耐震補強工事
要保護就学援助事業(小学校)	35,575	4,479	40,054	就学援助を必要とする世帯の増加
要保護就学援助事業(中学校)	34,003	4,149	38,194	就学援助を必要とする世帯の増加
その他31項目	41,345,855	202,079	41,547,892	
合計	45,863,226	1,148,935	47,012,161	

清水の私見



今回の補正額は11億4千893万5千円となりました。大きなものは市内小中学校の耐震補強工事などの大規模改修工事費となっていますが、気になるのは生活困窮者に対する生活保護費の補正額が、1億8千266万円も増加しているということです。昨年の10月対比で83世帯(91人)が増加、合計で769世帯(1,027人)となっております。長引く不況が、多くの皆さんに影響をおよぼしているのを見て、胸が締め付けられる思いです。

オープン! 教育研究所・ボランティア交流センター



教育研究所・ボランティア交流センター

昨年より建設しておりました、旧深谷消防署跡地(17号国道沿い)に教育研究所・ボランティア交流センターが完成しました。この施設では不登校の問題を抱える児童生徒を受入れる、通級指導教室やボランティアの皆さんの交流コーナーなどが設けられております。



新築完成した明戸保育園(建設委員会視察より)

清水の私見



教育研究所・ボランティア交流センターは、総工事費5億4千万円も掛けられた施設です。「未来を担う深谷の子どもたち」のためになる活動がなされるかをチェックしていきます。また、ボランティアの皆さんに活用されなければ意味のないものになってしまいますので、こちらも要チェックです。

それにしましても、3階立ての近代的な建物なのに、屋根の見えない部分に瓦が乗っていると気付きませんでした。(無駄を見逃してしまいました! 大反省)

12月15日 清水健一の 一般質問と答弁(要約)



『楽しむ』こと

「子曰く、これを知るものは、これを好む者に如かず、これを好む者は、これを楽しむ者に如かず」
郷土の偉人「渋澤榮一翁」は、この訓を次のように解釈されました。
行動を起こすためには、もちろん知識を身に付けることは重要である。しかし、知識だけでは、行動にはつながらない。

だから、知識より好きであることが大事だ！
好きであれば実際の行動につながる。
しかし、好きというだけで行動すれば壁にぶつかる！
壁にぶつかると、好きであったことが好きでなくなり、挫折してしまうかもしれない。
だから、好きなことより、楽しいことが大事である。
心から楽しいと思えば、壁を壁と思わず、挫折することはない！
全世界の子どもたちが、解りきっていることを、我々、大人は気づくことなく抑制しているのです。人生において最も大切なことは、心から楽しむということである。
心が楽しむということは、うわべばかりの、自己中心的な極楽生活の日々を過ごす楽しみとは違います。真なる心身の楽しみは、自分だけではなく、他の人へ、社会へと繋がります。
その教えを胸に3番、清水健一発言通告に基づき質問に入ります。

質問 行政窓口のワンストップサービスについて質問します。ご存知とは思いますが、ワンストップサービスとは、複数の部門や機関にまたがる行政サービスを一つの窓口で受付けて提供することを指します。

深谷市でも、行政サービスの種類や管轄によって、行政サービスを提供する窓口が異なっています。複数の行政サービスを受けたい市民の方は、役所の複数の建物を移動したり、庁舎内の、いくつもの窓口を回らなければなりません。
こうした仕組みは、利用者である住民にとって不便であるという反省のもと、複数の行政サービスを1ヵ所の窓口で受けられるよう一元化する取り組みを始めた自治体が見られるようになりました。

そこで、一例をあげて質問します。

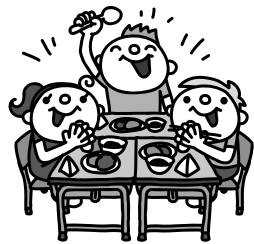
- (1) 市外からの転入者の方が、手続きが煩雑で時間が掛かっている状況に対しての工夫について質問します。
- (2) 助成金支給申請や減税制度などの申請・報告に際しての書類重複についての対応について質問します。



答弁 市民の皆様の要望や苦情をもとに、業務安定システムを取入れて全庁的に取組んでおりますが、今後も窓口対応などの事務改善を継続して行って参ります。

質問 今年の3月議会一般質問でも取り上げました「食育」について質問します。
今年の質問でも述べさせていただきましたが、平成17年6月に、全ての国民が心身の健康を確保し、生涯にわたり、生き生きと暮らすことができる様にと、食育基本法が成立し、それに沿って、国の食育推進計画が策定されました。
埼玉県でも食育推進計画が策定され、県内ではさいたま市をは

じめ3つの市で作成が完了し、現在、更に3つの市で作成が行なわれております。前回の質問で、深谷市でも職員さんの努力により、様々な食育への取り組みが行なわれているのは解りました。



その上で、「夢を育み、明日に飛翔する笑顔都市 ふかや」を提唱し、農業生産高が全国でも有数の深谷市が真剣に、そして全庁的に、早い時期に策定できる様に取り組むとの答弁を、前回いただきましたが、1年半以上経過した現在の取り組み状況について伺います。

答弁 昨年「食育」に関しまして、様々な研究を重ねてまいりましたが、今後策定します「深谷市健康増進計画」と関係が深いことから併せて策定をしていきます。策定に際しましては市民の皆様の意見や提案を取り入れて作っていきたく思っておりますので、議員におかれましては、人的な紹介も是非ともお願い致します。

※その他、新型インフルエンザの現在状況と今後の対応について質問しました。

質問を終えて 今回の質問は、いずれも市民の皆様からの声を取上げさせていただきました。役所仕事というものは、民間と違い「お客様の立場」を、あまり考えておりません。ワンストップサービスは民間では当たり前のことで、イギリスでは行政と民間がタイアップして住所氏名などを入力すると、住民票移転の登録はもとより、ガス会社や電力会社などにも一度に登録がされます。効率と経費削減のシステム開発を急ぐ必要を、今後も提言して参ります。

でも、窓口の職員さん達は、笑顔で元気良く、対応されておりますので、お気付きの際は、是非、褒めてあげてください。

清水の不安と課題！深谷の医療！

救急車は早く到着するが、受入れ病院が！



深谷市の医療の現状(救急)平成20年のデータ

○救急車の搬送人員状況

救急搬送人数 6,188人

救急医療圏(深谷市・寄居町)の病院へ4,293人(69.38%)

その中で

深谷市内病院へは3,575人(57.7%)

深谷日赤病院へは1,671人(27%)

佐々木病院へは 1,292人(20.8%)

その他、熊谷・行田・秩父・児玉・比企郡に搬送させられております。驚くべきは、県外の藤岡市や前橋市にも94名の方が搬送されました。(1.52%)

現実に、救急車が到着しても、受入れ病院が見つからず、40分以上出発できず立ち往生しているのが現状です。助かる命も助けられない救急隊の皆さんの悲痛な叫びが聞こえてきます。もちろん、本人やご家族の心境を考えますと早急な対応が政治課題となっております。

“誰もが、患者になるのです、他人事ではないのです”

●地域医療の再生に必要なもの

もちろん、医師の確保である。(すぐには無理！)

では、今、できることは！

地域医療の連携:電子カルテなどを導入し、患者情報を共有する。

医師を育てる、基金を創設し奨励金制度などを導入する。

いずれにしても、政治が動かなければなりません。

清水は地域医療再生基金の創設を提言していきます。

清水健一は、「深谷市の医療と福祉を考える会」に賛同します。

清水健一連絡先

〒369-1246 深谷市小前田2406-8
TEL 048-584-0717

FAX 048-584-0396

ホームページ: <http://www.shimizu-kenichi.jp> (ブログ公開中)

E-mail: info@shimizu-kenichi.jp



プロフィール

昭和36年1月27日生まれ(48才)

家族構成 父、妻、子供3人(6人家族)犬(オス)1匹(名前ショコラ)

○ 埼玉県立熊谷工業高校 卒業

○ 社団法人深谷青年会議所 第35代理事長

○ 深谷市PTA連合会 会長

○ 深谷市立花園小学校 PTA会長

◎ 深谷市立花園中学校 PTA副会長

○ 埼玉県立深谷高校 PTA会長

○ 深谷市子どもサポート市民会議 副会長

○ 花園商工会青年部長

このレポートは旧花園地域には折込により全戸配布しており、他の地域の皆様には年2回郵送させていただきます。郵送希望の方を紹介していただければ郵送させていただきますのでFAXやメールでは是非、御紹介して下さい。